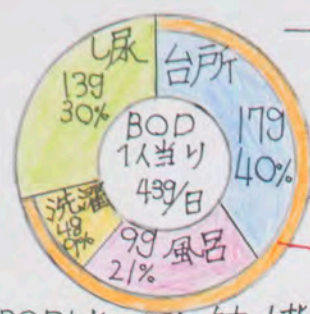


仕に組行 8月22日
みつてきま(め)に
やました。ここので
役割を学んでま
した。下水道の

生活排水の中の汚れの割合



一人一人の毎日の汚れがこれだけの量、出ているとわかった。

生活雑排水 30%
70%

BOD:水の汚れを表す指標

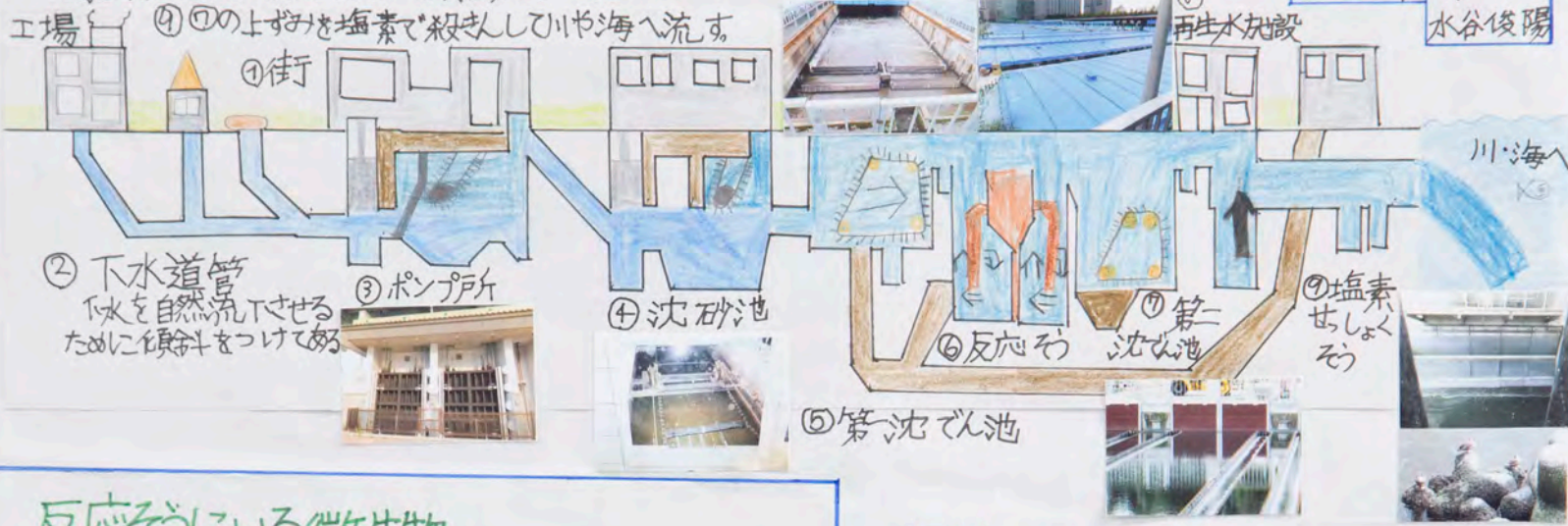
下水道の重要な役割

- ・街をきれいにする
- ・トイレの水洗化と生活排水の処理
- ・きれいな水辺をつくる
- ・浸水から街を守る

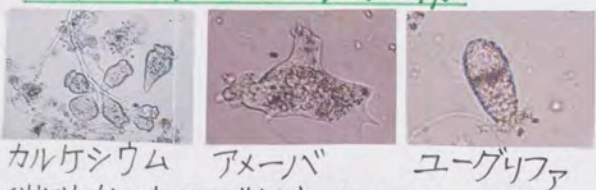
水再生センター

下水を処理してきれいな水にみかえらせるく④~⑨発生したお泥を処理する汚泥処理施設

- ① 家や工場からの排水
- ② 下水を集めて再生センターまで運ぶ。
- ③ 地下深まで流れてきた下水をくみ上げ再び流す
- ④ 下水の中にある大きなゴミ取りのぞき石など沈める。
- ⑤ 2~3時間かけて細かいよごれを沈める
- ⑥ 微生物の入った泥(活性汚泥)を下水にまぜよごれを分解する。
- ⑦ 反応槽から流れてきた泥をさらに沈める
- ⑧ 再利用するためによりきれいな再生水をつくる。



反応槽にいる微生物



反応槽に入っているフィルターざらざらしてました。

微生物は顕微鏡でしか見ることができません。空気をたくさんあたえることで元気に活動します。そのことにより水がきれいになります。

汚泥処理施設

下水の処理ででた泥は水分をとりのぞき、もやして灰にして、うめたてたり資源として私たちのくらしに役に立っています。

芝浦水再生センターで学んだこと

- ・ぼくたちが使った汚水は水再生センターで処理をされたあと12時間後には、東京湾に流れています。
- ・私たちが出した排水は1日25mプール2000杯=60万杯流れてきます。(雨の日は3000杯)
- ・再生水は、ビルのトイレや電車を洗うことに使われています。
- ・処理してきれいになった水のうち60%が隅田川が荒川に流されているため川の水しつがたもたれています。

隅田川の花火

ぼくの家近くには隅田川が流れています。毎年花火大会がありますが昭和36~52年まで止になっていましたその原因が川の汚染でした。しかし下水道整備が進められて、川の水がきれいになり昭和53年に再開しました。今年で40目をむかえました。

感想

下水道の事について学んだのでこれからは水のむだ使いをしないようにしたいです。ぼくの家近くにも水を再生するしせつを発見しました。国技館とライオンです。みなさんも見近にある下水道のしせつをさがしてみてください。

